

テーマ リズム

子どもたちの生活や遊びには、歩く・揺れる・話すなど、さまざまなリズムがあふれています。活動を通してその存在に気づき、音や動きの違いを楽しみながら、自分なりの表現へとつなげていきます。

こうした経験が感性を育てていくと考えたから、このテーマにしました。

リズムで叩いてみよう

リズムをたたくことに興味をもった子どもたちが、二本の棒を使って床をトントンと叩き、思い思いのリズムを楽しみました。一人ひとりが自由に叩く中で、「こんな音がする」「こんなリズムもできる」と、さまざまなリズムが生まれていきます。友だち同士で向かい合って叩いてみると、「一緒にやると楽しい」と気付く姿も見られ、自然と仲間が増えていきました。やがて全員が同じリズムを叩いてみることに挑戦。音がそろった瞬間、子どもたちの表情がぱっと明るくなり、みんなで一つのリズムをつくる心地よさを感じていました。



リズムを発表しよう

全員で同じリズムを叩く心地よさを味わった子どもたちから、「これを誰かに見せたい」という声があがりました。そこで、近くの施設のおじいちゃん・おばあちゃんたちに向けて発表することが決まり、子どもたちはワクワクしながら練習を始めました。本番では、みんなで息を合わせてリズムを叩くことができ、会場にはたくさんの拍手が響きました。温かい拍手を受けた子どもたちは、とても誇らしそうな表情を見せ、達成感いっぱいの様子でした。



振り返り

リズムに興味をもった子どもたちは、二本の棒で床を叩きながら、思い思いのリズムを楽しんでいました。友だちと向かい合って叩く中で「一緒にやると楽しい」という気付きが生まれ、仲間が増えていく姿が見られました。全員で同じリズムに挑戦すると、音がそろった瞬間に子どもたちの表情が輝き、協力する心地よさを感じている様子でした。「誰かに見せたい」という声から施設での発表が決まり、練習にも意欲的に取り組んでいました。本番では温かい拍手を受け、達成感と喜びを味わう姿が印象的でした。

